

研究課題名：内視鏡処置の周術期におけるヘパリン置換療法の有効性と安全性

所属（診療科）：消化器内科

研究責任者（職名）：池田 隆明（部長）

研究期間：2018年12月の倫理審査承認後より学会、学術誌での公開まで

研究目的と意義：抗凝固療法を行っている患者さんが内視鏡的処置・治療を行う場合、出血のリスクを減らし、血栓症を予防する目的でヘパリン置換療法が行われます。しかし、外科的手術とは侵襲性が異なる内視鏡的処置・治療で、ヘパリン置換療法が必要であるとのエビデンスは示されていません。そこで、過去に抗凝固治療中に内視鏡的処置・治療を行った患者さんについて、ヘパリン置換療法を行った症例と、行わなかった症例を抽出し、治療後の出血率、血栓塞栓症率、入院日数などのデータを調査し、ヘパリン置換療法の有効性、安全性を評価します。この結果を解析し、同療法のエビデンスを明らかにします。

研究内容：●対象となる患者さん

2014年1月1日より2017年3月31日の期間に当院消化器内科に入院し、下記の①②の両者にあてはまる方。

①心房細動、弁膜症、ペースメーカーまたは植え込み型除細動器が留置されている方。

②下記の内視鏡処置・治療を受けられた方。

内視鏡的胃、十二指腸、大腸ステント留置術

内視鏡的胃、十二指腸、大腸ポリープ切除術

胃・大腸早期悪性腫瘍粘膜切除術

内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術

内視鏡的消化管止血術

胃瘻造設術

内視鏡的胆管ドレナージ術、採石術、ステント留置術

食道狭窄拡張術、ステント留置術

内視鏡的食道。胃静脈瘤結紮術、硬化療法

●利用する情報資料

年齢、性別、診断、検査結果、治療内容、入院日数、転帰など。

●研究方法

本研究は、中央登録方式を用いた多施設共同研究です。練馬光が丘病院事務局に情報資料を登録し検討します。提供される情報には個人を特定しうる内容は含まれていません

問い合わせ先：【研究担当者】

氏名：池田 隆明

連絡先：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

横須賀市立うわまち病院 消化器内科

電話：046-823-2630 FAX:046-827-1305

受付時間：月～金曜日 9：00-17：00（祝祭日を除く）